

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくまし生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

第23号 H25.11.26

発行者 甲斐昭児

☎ 23-3611

18日の夕方、女子生徒3名が横に広がって帰っていました。車が近づいても避けようともせず、通行の邪魔でとても危険でした。



地域の方(女性)から強い怒りと抗議のお電話がありました。危険で迷惑な行為であり、とても残念です。たぶん、その方は「細野中の生徒は…」というマイナスのイメージをきっと持たれたことでしょう。

少数のルール違反が、全校生徒の合言葉、「来校者がもう一度来たいと思う細野中にしよう」に水を差してしまいました。何かで汚名を返上してほしいですね。

◆ 6年生の体験登校・参観日 (11/15) ◆



【理科】葉緑素の実験

【音楽】中学校の校歌を歌いました。



【給食】3年生と一緒に



【図工】美術の先生の指導

とても熱心で積極的な授業中の態度でした。校歌もすぐに覚えて歌えました。いつ入学しても大丈夫かな。



2A 音楽



2年「修学旅行の説明」



3年「高校入試の説明」

修学旅行と入試の説明会それぞれで話をさせていただきました。主な内容は…

【修学旅行】旅行後にアンケートをとると、「思い出に残ったこと」の上位には、観光した

場所に加えて、ホテルや旅館がいつも挙げられる。なぜなら、そこには友人たちとの語りやふれあいがあるから。自分が楽しむと同時に相手のことにも気を配り、全員に楽しい思い出ができる修学旅行にしてほしい。

【高校入試】① 三者面談で初めてわが子の希望を聞いた親がいた。親子で十分に相談して面談に臨んでほしい。② 「子どもの進路だから子どもの考える通りに」という、いかにも子の主体性を重んじるかのような親もいた。でも、夢ばかりではご飯は食べられない。子どもの夢と親が知る現実を合わせて考えることが大切。③ 3年後にどんな出口が待っているのか。卒業証書だけではなく、就職や進学に必要な資格や学力、やり遂げたという満足感や充実感が得られるような進路選択をしてほしい。どこへ進むのかではなく、そこで何をするのが大切！



西諸県地区音楽大会(11.22)

学校代表として3年A組が出場しました。男女のバランスのとれたハーモニーは素晴らしく、感動を覚えました。客席でもきちんとした態度で鑑賞しました。

小林秋祭り(11.23)では吹奏楽部がパレードに参加し、いつもながらの華麗な演奏を披露しました。このように、「細野中」というブランドを掲げて対外的な行事に参加する機会がたくさんあります。その際、生徒一人ひとりが、細野ブランドに自信と誇りを持って臨んでほしいと思っています。

◆ 国際理解講座 (11/25) ◆

2年生の学習です。講師は県の国際交流員、チョヘミンさん。〇×クイズで理解を深め、ハングル語のしくみを学び、韓国の遊びで交流しました。



チョさんは来日4年目。県内の学校を回っています。小林は初めてということでした。

自力登校のすすめ ~ 強い子に育っていますか? ~

月曜の朝、合羽(かっぱ)を着て自転車で登校したのは1年生の男子が2人だけ。思わず「えらい!」と声をかけました。子どもが頼むのか親が気を利かせるのか、雨の日の送迎の多さには驚かされます。過去に勤務した学校と比べても細野小・中は多いように思います。

ここ数年、教育現場でよく使われる言葉が「自力登校」。文字通り、自分の力で登校することです。

自力登校は甘えとは無縁です。我慢する心が育ちます。粘りが身につきます。当然、学力や体力も向上するでしょう。特別な理由がない限り、少々雨ぐらいでは送迎は無用です。「姑息(にそく)の愛」(No2で紹介)で子どもを鍛える機会を失わないようご注意ください。

「強いチームは車の送迎が少ない」という記事を部活動掲示板に貼りました。



おめでとう! 細野中ブランドが高まりました。

- ◆ 【市長賞】 小林市立図書館読書感想文コンクール 中園明日香さん(3年) 図書館祭りで朗読しました。
- ◆ 中学生の税についての作文 【大蔵財務協会理事長賞・宮崎県銀賞】 平川 凜さん(3年) 【小林市銀賞】 中園明日香さん(3年) 【小林市銅賞】 松本 実夕さん(3年) 大蔵財務協会参与、日高貞昭様、小林税務署長、宮園幸一様が来校され3名に賞状を授与していただきました。
- ◆ バレーボール小林地区リーグ戦 【第3位】 男子・女子バレーボール部(JA 杯出場決定)

